

鹿屋飛行場周辺の航空機騒音状況

鹿屋飛行場周辺に設置している自動騒音測定装置で測定した各測定点の日ごとのWECPNL及び騒音発生回数は次のとおりです。

【平成24年2月】

上段：単位(WECPNL)
下段：騒音発生回数

No.	測定地点(場所)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日
1	上野町公民館 (鹿児島県鹿屋市)	65.8	63.4	67.5	58.6	56.9	59.1	62.0	63.8	67.6	70.2	—	68.2	44.1	56.2	53.6	68.6
		31	22	31	3	3	17	20	19	41	52	0	81	1	2	4	66
2	新生市営住宅集会所 (鹿児島県鹿屋市)	72.4	71.5	71.5	67.8	75.0	67.7	69.7	68.8	71.7	72.8	71.0	69.3	65.2	66.2	68.3	73.6
		116	96	85	49	26	59	81	92	92	145	40	72	52	33	69	148

No.	測定地点(場所)	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
1	上野町公民館 (鹿児島県鹿屋市)	70.7	—	57.4	68.4	65.2	58.1	66.9	68.5	44.4	—	68.0	69.2	68.1		
		80	0	10	40	63	10	49	106	1	0	61	69	81		
2	新生市営住宅集会所 (鹿児島県鹿屋市)	73.9	65.7	69.9	71.1	69.7	68.2	73.7	71.1	66.5	64.6	72.1	74.7	70.7		
		159	41	88	89	79	92	136	116	41	14	146	135	109		

WECPNLとは？

WECPNLは、「Weighted Equivalent Continuous Perceived Noise Level」(加重等価継続感覚騒音基準)の略で、音響の強度(dB(A):デシベル)、ひん度、継続時間、発生時間帯などの諸要素により、多数の航空機から受ける騒音の総量(総暴露量)を1日の平均として総合的に評価する基準で、ICAO(国際民間航空機構)で提案された航空機騒音の「うるささ」を表す単位です。

この評価方法は、環境省告示の「航空機騒音に係る環境基準について」(昭和48年環境省告示第154号)において、同単位を用いて環境基準を定めています。

お問い合わせ先
九州防衛局 企画部 防音対策課
092-483-8824